

<p>団体名</p> <p style="text-align: center;"><b>糸満市立西崎こども園</b></p>	<p>連絡先</p> <p>TEL : 098-992-3644</p> <p>Eメール : nishikodomo@city.itoman.lg.jp</p>
---	--

## 1 実践事項 (①)

### 「小学校教育への円滑な接続を目指して」 ～西崎地区での接続期カリキュラムの作成を通して～

## 2 実践内容

○コロナ禍での交流内容の工夫。



①【運動会練習見学】



②【小学生による読み聞かせ】

②DVD に録画した小学生による絵本の読み聞かせを聞いている園児達。

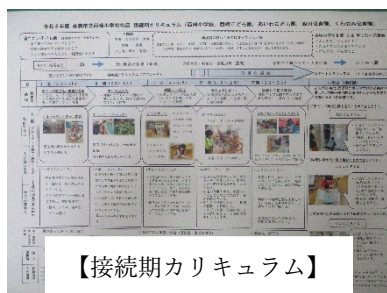
お姉ちゃん、先生みたいに読むの上手だね

①コロナ禍のため、交流はなかなかできないが密を避けて運動会練習の見学へ行く。

○幼小連絡協議会（西崎地区）にて接続期カリキュラムの作成に向けての話し合い。



・入園当初の姿の実践事例を各園持ちより発達の課程を確認する。



・I期からV期の発達の過程の共通理解を行う。  
・各期の育ちを確認し、小学校へつなぎを考える。



・小学校でも、楽しくできる手遊びや歌などを伝える。  
・小学校での子ども達の様子も聞きながら、接続期カリキュラムについて話し合う

## 3 成果

- ・小学校の運動会練習見学では、密にならないように工夫することで、一年生の頑張っている姿を見学することができ、あこがれの気持ちを持つことができた。
- ・接続期カリキュラム I期からV期までの姿を地区で取り組むことで、互いの子どもの育ちの共通理解を行うことができた。
- ・コロナ禍で、子ども同士交流活動は行えなかったが、職員間での協議会は進めることができた。

## 4 課題

- ・交流、連携を行いながら各期の様子をドキュメンテーションにし、幼児理解を深め、接続期カリキュラムを参考に話し合いを行い、幼児理解を深めていきたい。